

創刊週



創刊十五周年諸賢の高誼を謝す

画壇の高士逸材の作品を贈呈
過去十五年、幾多の先輩諸賢、大方讀者諸君の不斷の眷顧に依つて新聞紙本來の使命を果すべく時流に阿附せず、威武に屈せず、創刊以來卓然として時弊の匡救と郷士文化の促進とに努力し來れるを願みて愉悦を覺へざるを得ないのであります。由來新聞事業には惡戦苦闘の悲慘なる歴史は付きものであります。經營者にして記者たる私は多くの苦患を経ました、生死の海も渡つて來ました、特に經濟的の苦界に浮きつ沈みつ惑溺して來たのであります。
然し拮据經營は遂に熱烈なる後援者や同情の陰徳家も現れ社業の擴充に助力されて遂に印刷營業の獨立の秋實を擧げ得させられたことを衷心からなる感謝の意を表するものであります。
此處に於て私は恩人各位の厚情に謝するの一端として特に在京先輩を煩して現代書壇の高士逸材の彩管を乞へ其の作品も漸く完成したるを以て近日中私は各位の膝下に訪問し親しく之を贈呈し從來の叱咤激励の高恩に酬ゆるのであります。

画壇の高士逸材の作品を贈呈
過去十五年、幾多の先輩諸賢、大方讀者諸君の不斷の眷顧に依つて新聞紙本來の使命を果すべく時流に阿附せず、威武に屈せず、創刊以來卓然として時弊の匡救と郷士文化の促進とに努力し來れるを願みて愉悦を覺へざるを得ないのであります。由來新聞事業には惡戦苦闘の悲慘なる歴史は付きものであります。經營者にして記者たる私は多くの苦患を経ました、生死の海も渡つて來ました、特に經濟的の苦界に浮きつ沈みつ惑溺して來たのであります。
然し拮据經營は遂に熱烈なる後援者や同情の陰徳家も現れ社業の擴充に助力されて遂に印刷營業の獨立の秋實を擧げ得させられたことを衷心からなる感謝の意を表するものであります。
此處に於て私は恩人各位の厚情に謝するの一端として特に在京先輩を煩して現代書壇の高士逸材の彩管を乞へ其の作品も漸く完成したるを以て近日中私は各位の膝下に訪問し親しく之を贈呈し從來の叱咤激励の高恩に酬ゆるのであります。

尺三	花鳥	松
審查員	小吳勝興畫伯	常展
尺五	同	小林草說畫伯 院展四
尺五	同	裕治一回 背龍社三回 帝
尺五	花鳥	青風畫 丸儀太郎畫伯
院展四回	青龍社三回	
尺五	人物	白井剛夫畫伯 常展
五回		
	竹	ノ
	尺三	花鳥
	三四回	小林草說畫伯 院展
	半折	風景 路口鐘次郎畫伯 帝
	尺五	花鳥 鳥類 棚本第六回 畫伯
	帝第三回	栗山北羊畫伯
	帝三回	花鳥 鳥類
	尺五	獵虎 橋野翠紅畫伯 虎の
	大五	
	花鳥	紫宗廣畫伯 院展三

の資金をせぬことは事體が山積して居るが先此此種の見本を見よ
印在の如き不景氣時にありますては必ず自力更生に當りますが、その自力更生を具体的に申しますならば御近いは他人の力によらず自力更生分に於て外くの金額の節約より生れた僅かの金が知らずして金の間に纏て一頭の役に立つ金を見らるゝと、誠に我社の運営資金であります是れ皆々様の御利用を御勧め致し申す
日掛は金四十錢以上金五十錢まであります
◎六ヶ月以上成績よく御掛けに成れば一ヶ月分前貸金を以てし致します
◎二ヶ月間滞りなく御掛けに成れば一年間滞りなく相等する配當が加算されて戻します
以上の還付方法は外國で見るなりいきらず大日本帝國内では既じて出来ない體である、それは時計銀行法の第一條に
一複利ノ方法ニ依リ貯金ヲ

の貸金をせな」とことは事實が山積して居るが先づ此種の見本を見よ

日掛金の手帳にあります

在の如く不景氣時にありましては何と留つても自力更生より外に途はありません、その自力更生を生むべき事務所なら御互いは他人の力によらず自力で余分に働く外に冗費の節約より生れた餘が金が知らず心の間に纏つて一匁の役に立つ金を見るといふ誠に便利な機關であります非哲皆様の御利用を御勧め致します

日掛は金十錢以上金五十錢まであります

一ヶ月以上成績好く御掛けに成れば一ヶ月分を前貸し致します

以上の營業方法は外國であるなら

二又ハ一定ノ期間内
數回ニ金錢ヲ受入ル
是等の業務は賄賂銀行に非
能^シ其^ノ事^ニ出来^ズ無^シ
に獨り存^リ極^シ極^ムに也[。]
然^シ營利^シしてゐるが不^可思^議也[。]
らない、それも多數掛金^ノ者^ニ
積^ムんだが借りられない^ト大^シ難^シ
極^シて居るではないか敢^フで^シ思^フ
處[。]然^シ處[。]然^シ處[。]

於テ
ある子の二男坊が我海軍軍令官として、
に就職して、最近米艦を巡視し、
た際に米艦の大都會に行つて、
もののは自取手の多いことだ而して、
此が公使館でなれば、必ず監視して、
數千の自動車の其進行が決して、
事はず疑ふべ、雖然として、
走つて、其後、遂に、
父先を年半も無く辭して、
あるものであると云ふことで、
我日本人たるもの此艦米國人と
ふへき餘地があると思ふ。
公使館の有るや否やは一國の
明の態度を表し得るもので、公使館
の確立をうなは國は、即ち國の
世には他人の利害を顧みずして、
己口にすれば満足して、國際的
舞をして、自己の如く威脅力を
ある人が多い此類の代物は世に
金剛などは、大體の如く、
利士等と稱せらるゝ種族に

多くにしたがうので、徳の心と文を學ぶるにあらざるにても、先生にてて来らしくて、歸る。

會二回 尺五 鹽屋茂先日本盐
尺五 南風景 内海洋先生 南
立水家 風景 堤簡堂先生 南滿獨
立大家

人物花鳥
石川白流先生
獨立大家
柳野潤先生
美大
葛誠一郎先生
三回

先生
南仙
詫みに各種の公私に足を運んで
最も自己を競うものは「水の
折るべからず」又は「お湯の
愛しませう」と書いた文鏡で、
又多く人取扱ひ難いする所に記し
其順序をわざましい東洋文化を
心理がある「右側讀書」
全アーヴ「安全運転」などと
指す「左側讀書」

枝を櫻をてあるて安ふふと並ぶ

政黨本來の 使命に自覺

比佐代議士訪
占商業の經濟的、社會的關係は
國會の經濟的關係を、於て政治の不統一が
呼ばれ、或ひは立憲政治に對して
疑ひを抱き議政の必要性を説
く者もあり、そして慶成政黨の幹部
を擁するのであって、たゞ今日日本
の如き他邦になつても其の根本に
はあるが、我國の立憲政治は後
である。勿論政治の一時的、不
確保は免れ得ないであらうが、結局
立憲政治の大體は政治的、經濟的の根基
であるからその當面に復すること
は必要であると想は確信するもの
ある。今般の議院に於ける問題は
監察権や審議権など政治的向向に
於ては以前から懸念依然たる光景
を呈した所で、是故に既に議院と
を離れた所で、此監視人は
されるのである。此監視人は

政友派議戰

田子の吉の田中屋も既定の小屋で、あるが既に既定をして木派は既定の小屋で、櫻從來の行き折りからして好意を寄せるものとは思はれぬ、櫻從來からは赤坂由良館が山陰の聞名の中から決定を見るならんも山陰は次向に認つて今は赤坂らしい然し或ひは安らんに付くかも知れない、處で翌朝田は気が出でて一段することあらうか良隠をさるゝのは鈴木派の談諺で必ず四名を主張して地盤をせずの選舉は腕次第の取組を試むべ其の場合は相手必ずしも樂利を許さず左んと講義裡は亂れし處の如く落葉は最後まで豫想付かざるべく開金のある候都事の勝利となん、そして此の鈴木・佐藤兩代の土来春の隠岐講義に大なる影響を醸成せしめることになるのであるが、爾後それが公認となるか否由き實體は見透す舟へかかるる大間題にして會津は使用者の盜賊と同様に我慢に我慢こそ反つて不正料金の作成を常事としてゐるのではないか、然るを二ヶ月の料金滞納を理由に櫻從來の懲罰の実權を取して萬人批評的的となりつゝあるを櫻從來思ふ由來、櫻派、電氣の使用料費が今や國民生活上絶対的必需品にしてそれが商業の開拓上、社會の保、上更には文化生活の増進上不可缺の條件となりつゝあるに拘らず櫻從來の懲罰に至つては是れ差額め民衆の精神的、經濟的文化的生活

創立滿四年

のもあつたが昭和九年よりは百萬円以下での資本金を以て銀行を開業する事が許されず、其内最大なるものは一億五千萬圓であるとの話である。

平商工會

磐城セメント
磐城セメントは、四谷町や新宿の大通りに工場を有する磐城セメント會社は段々と成績が下する。昨年上期は九十分の八下期は八分、一億圓の販賣費は二億七八十萬圓の見出だが、会社自体としては改築費の問題だらうが他社の進歩が著しく、今後の競争を見越さない限り、行くまい現在の株價四十三圓は、少しも安いとして持続けることは出来まいと思ふ。

磐城セメント

